

感染状況・医療提供体制の分析（1月6日時点）

【1月7日モニタリング会議】

区分	モニタリング項目 ※①～⑤は7日間移動平均で算出	前回の数値 (12月29日公表時点)	現在の数値 (1月6日公表時点)	前回との比較	(参考) これまでの 最大値※6	項目ごとの分析※4
感染状況	①新規陽性者数※5 (うち65歳以上)	751.0人 (93.6人)	1029.3人 (126.6人)		751.0人 (2020/12/29)	総括コメント 感染が拡大していると思われる
	潜在・市中感染					新規陽性者数の増加を徹底的に抑制しなければならない。 接触歴等不明者の増加比は、高い水準で増加しており、実効性のある強い感染拡大防止策をただちに行う必要がある。
	②#7119（東京消防庁救急相談センター）※1における発熱等相談件数	67.9件	109.9件		117.1件 (2020/4/5)	
	③新規陽性者における接触歴等不明者※5	数	475.6人	697.6人		
	増加比※2	134.0%	138.1%		281.7% (2020/4/9)	
医療提供体制	検査体制					総括コメント 体制が逼迫していると思われる
	④検査の陽性率（PCR・抗原）（検査人数）	8.4% (8,085.3人)	14.4% (6,799.3人)		31.7% (2020/4/11)	
	受入体制					入院患者数は約3,000人と非常に高い水準の中で増加が続いており、医療提供体制が危機的状況に直面している。破綻を回避するためには、新規陽性者数を減らし、重症患者数を減少させることが最も重要である。
	⑤救急医療の東京ルール※3の適用件数	60.9件	79.6件		100.0件 (2020/5/5)	
⑥入院患者数 (病床数)	2,274人 (3,500床)	3,090人 (4,000床)		2,274人 (2020/12/29)		
	⑦重症患者数 人工呼吸器管理（ECMO含む）が必要な患者（病床数）	84人 (220床)	113人 (250床)		105人 (2020/4/28,29)	

※1 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※2 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価

※3 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

※4 分析にあたっては、上記項目以外にも新規陽性者の年齢別発生状況などの患者動向や病床別入院患者数等も参照

※5 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。

※6 前回の数値以前までの最大値